

# 涼風受け、雨天のレース快走

## 第6回大雪山忠別湖トライアスロンひがしかわ

全国各地から420人（うち小、中学生ジュニア36人）がエントリーして、トライアスリートが盛夏の忠別湖畔を駆け抜けた。あいにくの雨天の中でしたが、家族、仲間の声援を受けて緑の中のレースを満喫。レース終了後、親水広場で焼肉、ジンギスカンパーティーでお腹も満たして交流を広げました。（24ページ大会成績参照）



気温最低19度、水温20度（午前8時）、雨天。8月5日、午前10時、27人が出場したジュニアの部に続いて、15歳から75歳までの400人あまりがスタートしました。

この日はスタート時から雨足が強くなったり小ぶりの雨を繰り返す終日雨天のコンディション。気温が上がりながらも暑さによる体力の消耗は避けることができましたが、バイク（自転車）競技は路面に水がたまって滑りやすく、思い切つてスピードを上げる事が出来ない展開になりました。

日中の初出場、ブライアン・パークハウスさん（42）、女子は2回目出場の井上恵理香さん（37）（神奈川県）がそれぞれ優勝しました。

**優勝は初出場のブライアン・パークハウスさん**

初出場でも優勝したのはカナダから来たブライアン・パークハウスさん（42）。最初のスイムでは9位だったものの、バイクで2位以下に3分以上も大きく差をつけて快走、その勢いのままランも制して、大会記録を更新する2時間2分34秒でゴールしました。

旭川北高校の外国語指導助手（ALT）として来日したパークハウスさん、カナダではサイクリングからスポーツを始め、14年前のカナダ国内デュアスロン大会でチャンピオン経験者。



優勝したパークハウスさん（左）。練習中の松山ニコールさん（右）は町内から連続出場今年も完走

**ぎふ国体予選会の部で久保壁さん優勝**

千歳市から出場した久保壁一輝さん（21）は、国体予選会の部に出場して総合タイム2時間3分8秒と素

「とてもきれいで素晴らしい。天気は悪かったけれど満足」とレースを満喫、来年の出場も誓っていました。

晴らしい記録で同部優勝、総合でもパークハウスさんに続いて2位という見事な成績を収めました。昨年が続いて2年連続2回目の出場今年3月に地元の専門学校を卒業。現在救急救命士の資格を取るために奮闘中。第67回国民体育大会（ぎふ清流国体）の公開競技（10月7日、海津市）となったトライアスロン競技の選考予選会の部で国体出場を確実にしようです。

**沢田愛里選手、女性の部で大会4連覇**

女性の部優勝は、日本選手権予選会の部でエントリーした沢田愛里選手（32）（JR北海道）。同部で4連覇と記録更新しました。

「スイムのスタート位置が中央付近だったので直後に両側から挟まれて前に出られなかった。バイクで取り返そうと思ったけれど、雨でスピードを出



女子4連覇の沢田愛里選手（JR北海道）

6年ぶり2回目の出場。とても楽しかったと笑顔のゴールとなりました。

町内で今年2年目の夏合宿に入っていた東京ヴェルデトライアスロンセクションチームから木野真造、三沢源輝、蔵本葵、石井麻実の4選手がゲスト出場して大会を盛り上げました。男子優勝は一般出場のカナダから来た

初回大会出場後に生まれた2人の愛娘の子育ても一段落し「久しぶりに出たいと思った」とレースを満喫。「最初は雨が降っているから嫌だなあ、と思ったけれど、レース中は意外と涼しくて気持ちよかったです」。

ゴール会場では、主人の亮平さん（30）が長女小雪ちゃん（3つ）、二女千夏ちゃん（1つ）と一緒に3人でママをお出迎え。

「マラソンは練習している」というご主人ですが、「トライアスロンに興味はあるんだけど、泳ぎを練習しないと」と今年の出場の決心がつかなかったよう。「来年はぜひ夫婦で出場を」という思いを強くしたよう。

**全盲の宮腰さん、今年も完走**

6年連続出場した宮腰卓也さん（57）。2回目の大会から伴走役として一緒に出場している河西哲也さん（39）とともに完走しました。昨年はコース事情でバイクのタンデム走行が認められなかったため、やむなくスイムとランの2種目に出場。そ



6年連続出場、全盲の宮腰さん今年も完走

「今年こそは最後まで」と思っていたので、ゴール出来てうれしい。初出場の仲間もたくさんいるので負けてられない、という気持ちで走った。完走の記録も更新できて感激ひとしお。

**最終ゴールは今年も菊地さん**

3時間56分10秒で最終ゴールしたのは、昨年が続いて2回目出場の菊地末子さん（59）。

「雨が降っていたので、バイクはコーナーのところまでその都度降りて回った。それでずいぶん時間をロスした。ランは濡れたシューズがとても重かった。でも今年は雨だったけれど走りやすかった」。



昨年に続いて最終ゴールの菊地さん、ご主人の利夫さんが笑顔で出迎え

◇コース（一般レースコース）

忠別ダム湖と湖畔の町道を周回する特設コース  
①スイム11.5キロ（忠別湖散策広場前スタート、フィニッシュ） 湖面周回コースを2周（1周0.75キロ）  
②バイク（自転車）40キロ（スイム会場をスタート、フィニッシュに忠別ダム湖畔道路を2回折り返して3周回）  
③ラン10キロ（スイム会場を起点に忠別湖畔道路を2回折り返し3.5周回。ゴールは親水広場）



町内から6年ぶり2回目の出場、中村舞さん（小雪ちゃんと千夏ちゃんもお出迎え）

6年ぶりの中村さん、来年は「夫婦で出場を」

町内から出場の中村舞さん（30）は、

「旭岳で夏合宿中のスキー部の3人が応援に駆けつけてくれました」と仲間に見守られてうれしいゴール。せず、ランでようやくタイムを挽回することが出来た」とゴール後にレースを振り返りました。